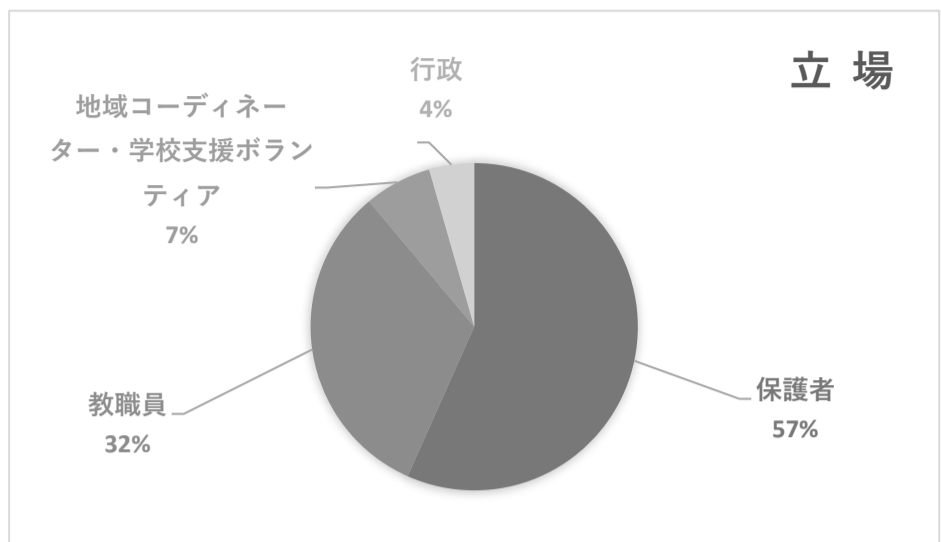


令和4(2022)年度 安足地区ふれあい学習ネットワーク アンケートについて

参加者	人数
保護者	51
教職員	29
地域コーディネーター・学校支援ボランティア	6
行政	4
アンケート回収数	90
参加者数(人)	105
アンケート回収率	86%

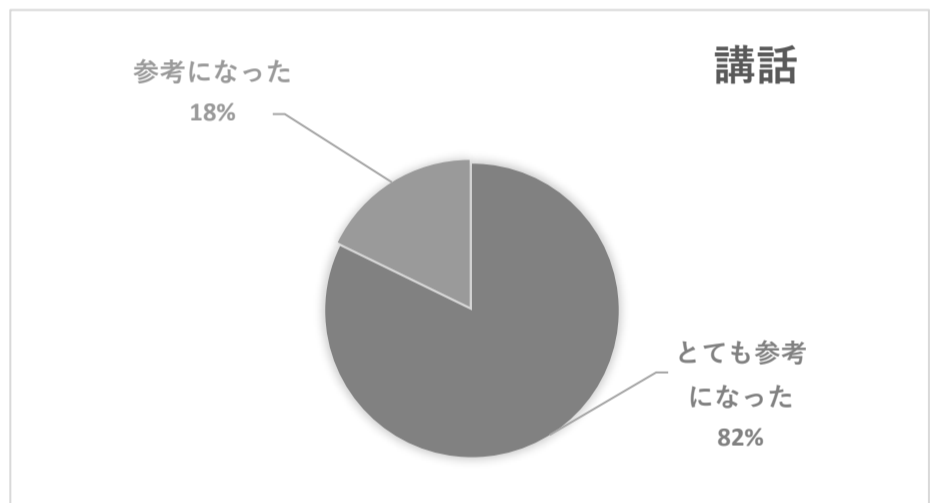


* 電子アンケート回答者数 61名 (電子率 68%)

1 研修内容について

(1) 講話「人間の「3つの幸せ条件」を考える～『つながり』を生むために～」の内容はいかがでしたか。

とても参考になった	74
参考になった	16
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
アンケート回答者数(人)	90



コメント (自由記述)

- ・保護者の立場で参加させて頂きましたが、仕事でも活用できる興味深いお話ばかりでした。年齢があがるにつれて過去の経験から、今を考えることが多いのですが、先生の「明日があるから今を考える」というお言葉がとても印象に残りました。【保護者2】
- ・人類の誕生及び一年間の早産が興味深い内容でした。繋がり奥深さと必要不可欠を実感した。【保護者】
- ・つながりについて深い話が聞けて良かったです。人間には明日があるから今日がある…とてもいい言葉です。子供が大人になるためには人生の4分の1のお話、とても長い月日のように思えるがあっという間に過ぎてしまうのでつながりを大切にしたいと感じました。【保護者】
- ・つながることの大切さ、あたりまえの生活が出来ないコロナ禍で感染対策しながら毎日を過ごせる日常に感謝です。子供たちにも当たり前朝ご飯を食べて学校へ行く普通のこと感謝の気持ちを持ってほしいです。まずはそこからのスタートで将来につながっていくのではと思いました。【保護者】
- ・明日のため、子供のため、面倒くさがらずにがんばろうと思いました。【保護者】
- ・長谷川先生のお話で「人は一人では生きていけない。」とありました。大切な繋がりを改めて考える場になりました。【保護者】
- ・自分で思っていたことと違う解答があったりと、とても勉強になりました。人は一人では生きていけないため、つながりがいかに大切かという事を学びました。【保護者】

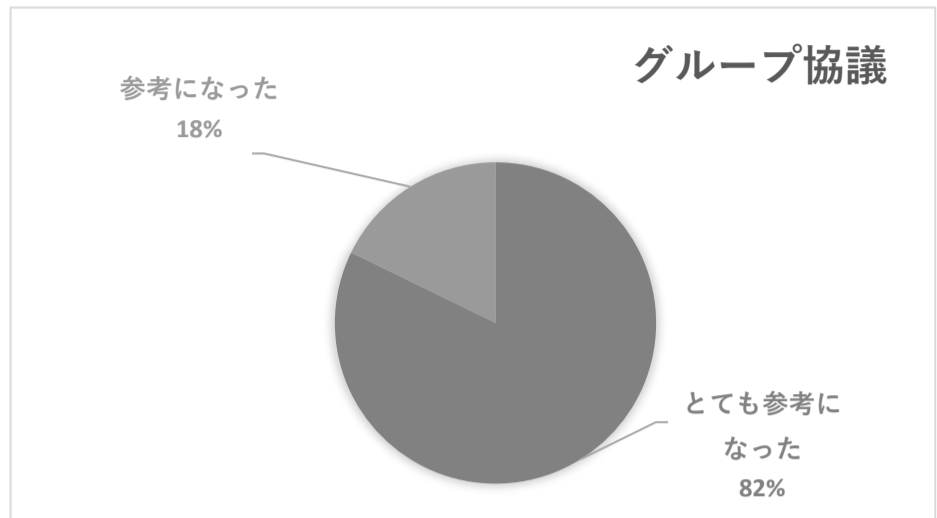
- ・家庭、学校、地域がそれぞれの役割を果たすことで、子どもたちが幸せになれるよう導いていくことの大切さ、難しさを改めて考えました。社会とのつながりを子どもたちに見せてあげられるよう、周りの大人が関わってあげないといけない、と思いました。【保護者】
- ・引きこもりは孤独ではないという話がとても心に刺さりました。家族はどんな状態でも家族なんだなと思いました。【保護者】
- ・学校、家庭、地域の連携が必須であること、またそれらが合致していることで全てが円滑に前へ進め、幸せにつながる事が出来ると思いました。分かりやすくとても面白く勉強になりました。【保護者】
- ・コロナ禍で子どもと地域とのつながりがなかったので、今日の講話を聞いて自分の地域で小さなことでも何かつながれることを見つけていきたいと思いました。【保護者】
- ・繋がりのない今の世の中でどうやって地域の人たちと繋がりを持たせるかは大きな課題です。家庭で絆を強化するために子供の話をよく聞き、テレビと携帯を切る事を実践しています。なるべく把握して行きたいし、教えられる事は全部教えてあげたいので生きる力を身につけさせたいと思っています。【保護者】
- ・とても興味深く聞かせていただきました。「子供は周りを明るくする力がある。」「子供に色々与えてるが、私たちも子供から色々なものをもらっている」という言葉がとても印象的で、これから子供と接する時、忘れないようにしようと思いました。【保護者】
- ・とても分かりやすい説明で聞きやすかったです。子供達の未来についてとても考えさせられるお話でした。【保護者】
- ・地域との繋がり、色々な意見、教え方がある事をどれも間違いじゃないと家庭でも教えていきたいです。【保護者】
- ・ホモサピエンスから始まり、地域との繋がりが子供の生きていく力につながるなど、今まで気が付かなかった視点を教えていただきました。【保護者】
- ・自己肯定感を高めるという言葉が印象に残りました【保護者】
- ・つながりは言葉にして感じる部分があるが、実際に見える化をする必要がある。大人の視点だけでなく、子供視点でも考えると色々繋がる機会が増えてくるように感じた。【保護者】
- ・自分自身繋がりを重要視していなかったが、話を聞いて考えが変わった。家族で話し合ってみたいと思った。大変参考になりよかった。【保護者】
- ・子育ては世代を超えて！ 確かにそうだと思います。【保護者】
- ・地域のつながりを大事にする事の大切さを再認識できた。【保護者】
- ・先生の講演はとても興味深いお話ばかりで、大変参考になりました。子どもたちに、社会とのつながりのために挨拶が重要だと伝えていきたいです。【保護者】
- ・つながりの免疫力をつけるには、あいさつが大事とわかりました。見えないつながりを見つけるために、わたしも頑張っていこうと思います。【保護者】
- ・自分の幸せを感じる力を、教えることに自信を持ちました。【保護者】
- ・コロナになって今までの当たり前が違って繋がりが確かに弱くなったと実感しました。【保護者】
- ・子供にとっては365日がドラマという大人になって忘れてしまっていた感覚を少し思い出すことができた。子供にとって重要な時期を周りの大人が地域として子供と向き合っていけたらいいなと思う。【保護者】
- ・「一人では生きられない」というワードにグッときた。自分の子も不登校だった。いつまでも支えていきたい。三人三様、子どもを支え、子どもに支えられている。いつまでも、どんな状況でも味方でいたい。と改めて思った。【保護者】
- ・三角形の鳥居。子どもたちにとって大切。【保護者】
- ・先生のお話はとても分かりやすく参考になりました。「3つの力」をうまくバランスのとれる環境になればと思いました。【保護者】
- ・久しぶりに講演を聞いて、自分のため、子どもたちのために何かしたいと思いました。【保護者】

- ・人はひとりでは生きられない」という言葉にたくさんの意味があると感じました。学校、地域、家庭がどれも欠けることなく、未来をつくる子どもたちをサポートできたらと思います。大変すばらしいお話をありがとうございました。【保護者】
- ・みんなで”子育て”するものだと思った。ワンオペはダメ。つながりの「可視化」大事。【保護者】
- ・もう少し時間が欲しかったです。【保護者】
- ・楽しいお話でした。「やるなら楽しく」でがんばります。【教職員】
- ・子どもたちを育てる地域の力の大切さについて考えさせられました。【教職員】
- ・私たちにとって日常になってきたことが、子どもにとって新しい発見であり、毎日が冒険している。【教職員】
- ・長谷川先生のストレートで分かりやすい（現状を隠すことなくズバリと言う）お話が心に突き刺さりました。今すべきことが分かった気がします。【教職員】
- ・おもしろいお話の仕方で、話の内容がよく分かりました。【教職員】
- ・10年以上前の社会教育主事講習で御指導いただいた頃を懐かしく思い出しながら、あっという間の幸せな時間を過ごしました。お変わらない語り口と心地よいリズムに加え、現代的な視点の講話に、自分の学び直しの機会の大切さを実感することができました。【教職員】
- ・子どもたちに最初に教えることは、あいさつ！それが強烈に印象に残った。日頃、あいさつが活発に行われるにはどうしたらよいか試行錯誤している。まずは自分から突き抜けたあいさつをしていくしかないのかと思っている。それから、子どもたちに幸せになる力を送るということが、私たち大人の役目だと改めて思った。歪み合うのではなく、それぞれができることを出し合っていく大切さを本日の講話で痛感した。【教職員】
- ・長谷川先生のお話は、いつも目からウロコです。地域とのつながりを見直す良いきっかけになりました。【教職員】
- ・難しい内容を楽しく話してくださって、あっという間の1時間半でした。サンタクロースについて、私は、教師として「いるよ」とは言えませんが、「いない」とは、絶対に言わないようにしようと決意しました。ありがとうございました。【教職員】
- ・いろいろな例を紹介しながら話をしていただき、たいへん参考になりました。【教職員】
- ・社会教育は人と人とのつながりを作ること、ということがあらためて実感できました。【教職員】
- ・進化や、人の発達をふまえた講演、楽しく拝聴しました。鋭い爪も牙も持たずに、人が栄えてこられたのは、つながりのおかげと思っていたので、自分の考えに自信が持てました。ありがとうございました。【教職員】
- ・子どものために、大人が本気を見せなければいけないことを再確認しました。【教職員】
- ・引き込まれる、興味深いお話でした。当たり前のことを、ちゃんと口に出して言ってくれる長谷川先生。そして我々大人も、言うべきことは口に出して発信するようにしないとイケないということも、改めて教えていただきました。【教職員】
- ・学校、地域、家庭それぞれの役割やつながりについて、考える良い機会となった。【教職員】
- ・ハセガワ節が懐かしかったです。あいさつについて日常的に指導はしているけれど、生徒の心に響く言葉で語りかけないとだめだなあと、長谷川先生の話聞いて思いました。【教職員】
- ・行政としてどのように関わっていくべきか考えることができた。【行政】
- ・分かりやすい講話で親しみやすい先生で楽しかったです。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・とても参考になりました。対面は大事ですが、メタバースなど新たなコミュニケーションの可能性も考えたいと思います。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・ユーモアを交えてとてもためになるお話でした。繋がりが大切だということがわかりました。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・楽しい内容でした。子どもを育てることはとても大事なことです。政治家にも若い人にも関心をもってほしいと強く思いました。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】

・「一人では生きていけない。」地域は社会力。子どもの成長を楽しみ、ボランティア活動を続けていきます。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】

(2) グループ協議はいかがでしたか。

とても参考になった	74
参考になった	16
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
アンケート回答者数(人)	90
グループ協議参加者	92
グループ協議参加率	88%



コメント(自由記述)

- ・先生の立場からや保護者の立場からの意見が聞けてよかったです。【保護者14人 教職員5人】
- ・色々な価値観の意見が拝聴出来有意義でした。【保護者】
- ・コロナ禍でいろいろな行事が取りやめになってしまっているが、行事を再開するにあたり「つながり」と言う事を改めて考え、参加のしやすい行事作りや、行事の手伝いでも負担が少ない等いろいろ考えていくタイミングなのではないかと思う。【保護者】
- ・小学、中学の保護者。小学校教頭。貴重な時間を共有でき意見交換させていただきました。あっという間の時間でした。【保護者】
- ・色々な方とお話が出来て凄く良かったです。これから自分なりに出来る事を少しずつ実践していきたいです。【保護者】
- ・地域、学年によって変わることが多いので、自分の地域でないお話を聞いたのはとても良かったです。【保護者】
- ・地域との関わりの中で、大人が楽しんでやる、ことが大切だと思いました。様々な意見を聞くことができ、参考になりました。【保護者】
- ・子供たちの未来を明るくするために大人が楽しく地域との関わりを深め、今できることを考え実践していきたいと思いました。【保護者】
- ・オンラインよりも対面の研修は緊張しますが、やっぱりいいなと思います。【保護者】
- ・色々な立場の方とグループ協議できて貴重な時間をいただきました。昔は良かったと振り返りつつ、これからの未来はもっとよりよく迎えられることができたらと話し合いが進められたことがとても嬉しく自分自身でできる事を試みたいと思いました。【保護者】
- ・教師の方々と一緒でしたが地域も違かったのでとても参考になりました。コロナ禍でいかに考え、工夫をしているかがわかりました。ただ今までの行事を復活して色々な体験をさせてあげたいと思いました。【保護者】
- ・保護者、教員がイベントの企画、参加を積極的に促し交流を深める。あいさつはとても大切なので、各家庭で指導していく。【保護者】
- ・これからは、色々なイベントを再開して地域との繋がりをしていましょうと話しました。【保護者】
- ・やはりコロナ禍で行事がなくなり、それが今後どう復活できるのか懸念されていました。【保護者】
- ・教員としてのお立場の方のご意見も聴けてよかったです。【保護者】

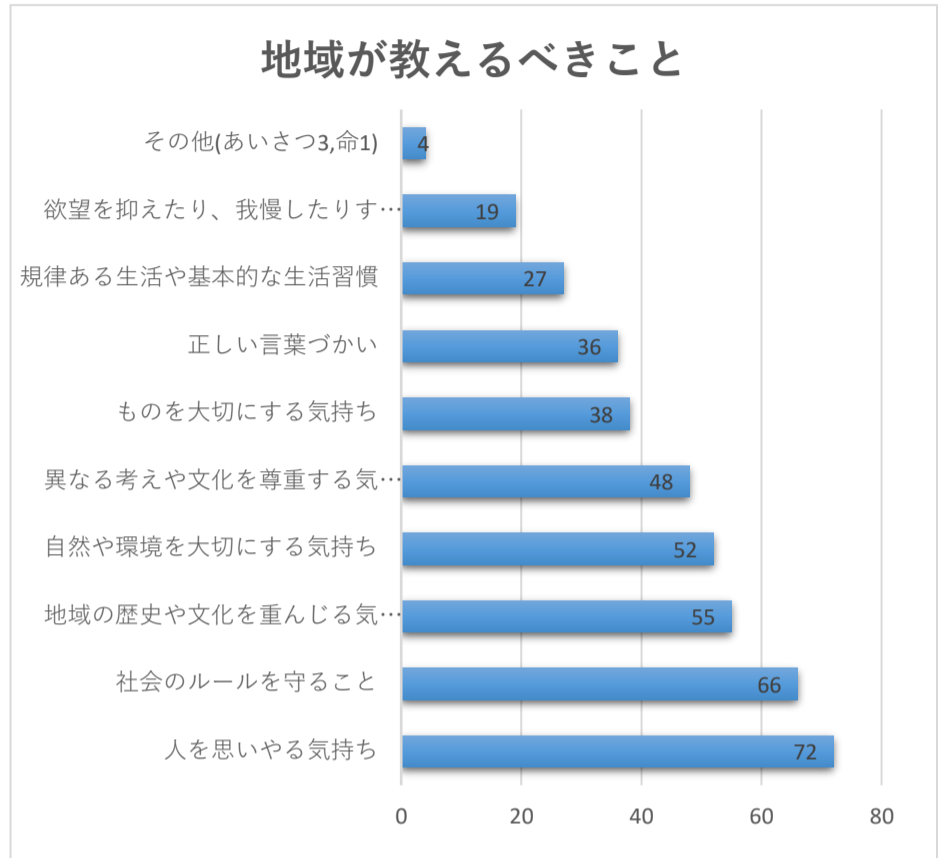
- ・色々な立場があり、自分の視野以外での見方があることに改めて気づき、大変参考になりました。【保護者】
- ・教員の方、公民館の方等、普段関わりがない方達のお話が聞けて大変興味深かったです。【保護者】
- ・地域によって違いはあるが、これからの地域とのつながりについて考えられた。【保護者】
- ・地域・学校・家庭の立場の方たちと話せて、日頃気付けない(分からない)ことが分かり、いい機会になりました。【保護者】
- ・参考になりました。話しやすい場でした。【保護者】
- ・各地域の育成会でいろいろな課題があることを知りました。自ら動いていこうと思います。【保護者】
- ・みなさんが、「つながり」に対して「どうにかしなければ。」という意識が高いことが分かり、心も温かくなった。【教職員】
- ・未だに制限はあるが徐々にできるようになったものもある。今できることを一生懸命に工夫する。【教職員】
- ・地域、PTAの方々の熱い気持ちが聞けてよかった。【教職員】
- ・様々な立場の方とグルーピングされたので、話を聞いてとても参考になった。できることは、学校で取り入れたい。【教職員】
- ・もっとたくさんの時間があると良いと思います。【教職員】
- ・コロナ禍では、普段の人間関係を広げたり、立場の違う方とお話したりできる機会がなかなか無いので、短い時間でしたが有意義でした。【教職員】
- ・少子化、コロナ禍、価値観の変化など、つながりをもちにくくなっているが、それぞれのできることを信じることから始めたいと思う。【教職員】
- ・他の学校のことだけでなく、PTAの方からのお話が聞けて面白かったです。【教職員】
- ・小学校や中学校、高校の様子などが参考になりました。【教職員】
- ・リラックスして意見がうかがえて良かったです。【教職員】
- ・どれだけコロナの影響を受けているのか、痛感しました。コロナは、学校、地域、子供達を引き離しています。5類になるのをきっかけに、3年前の地域行事が復活することを願っています。あいさつの重要性も訴え続けていきたいです。【教職員】
- ・立場の違う方の意見や実際に実施していることなど、新たな発見があった。【教職員】
- ・コロナ禍での地域との繋がりを考える機会になりました【教職員】
- ・色々な立場の方の話が聞けてよかった【教職員】
- ・一緒になったグループの方がPTAの方が多く、皆さん地域と学校のつながりの回復を望んでいることがわかりました。【教職員】
- ・佐野市ではなく、足利市の方の話も聞くことが出来てとても楽しい時間でした。最近はグループで対話がなかったので意見交換が出来たので、また参加出来たら嬉しいです。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・いろんな実情を知ることができました。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・つながりを意識して関わり役目を果たしていきたいと思った。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・色々な立場でそれぞれの問題があることがわかりました。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・コーディネーターさんが、アプリを活用して情報発信やボランティアの活用をしているお話は目からうろこでした。新しく活用できる内容を多くの方に広めてほしいと思いました。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】
- ・みなさんが同じ悩みをもって「なんとかしたい!!」と思っていることが分かった。【地域コーディネーター・学校支援ボランティア】

- ・他地区、他市の話はなかなか聞く機会がないので、ありがたい会でした。【行政】
- ・保護者や学校側の実情をうかがうことができた。【行政】

2 地域の役割について

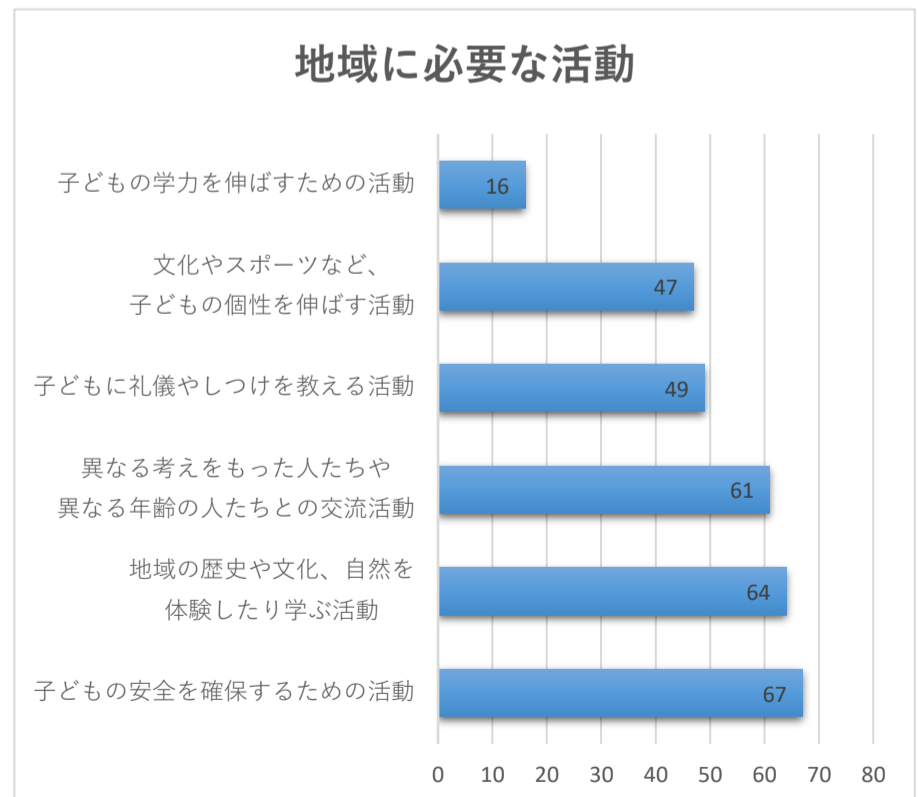
(1) 地域が中心となって、子どもたちに教える必要があるものは何だと思いますか？(複数選択可)

地域が教えるべきこと	人数
人を思いやる気持ち	72
社会のルールを守ること	66
地域の歴史や文化を重んじる気持ち	55
自然や環境を大切にすること	52
異なる考えや文化を尊重する気持ち	48
ものを大切にする気持ち	38
正しい言葉づかい	36
規律ある生活や基本的な生活習慣	27
欲望を抑えたり、我慢したりする気持ち	19
その他(あいさつ3,命1)	4



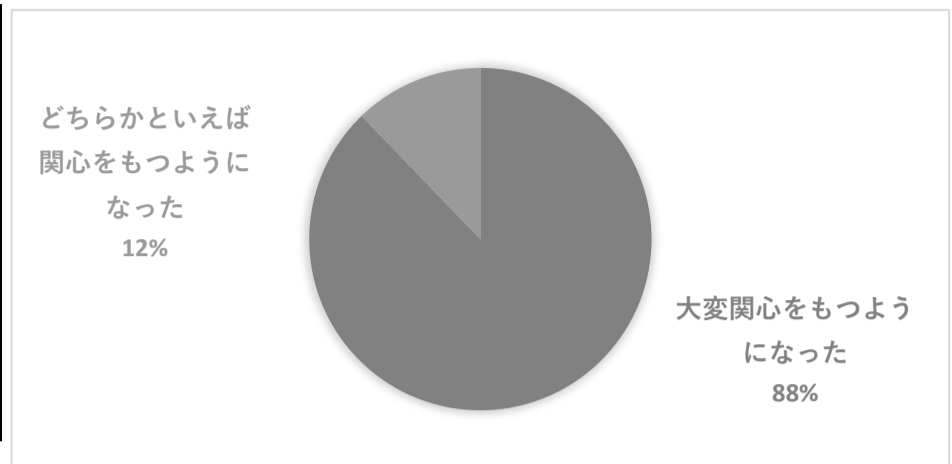
(2) 子どもを健やかに育てるために、地域ではどのような活動が必要だと思いますか？(複数選択可)

地域に必要な活動	人数
子どもの安全を確保するための活動	67
地域の歴史や文化、自然を体験したり学ぶ活動	64
異なる考えをもった人たちや異なる年齢の人たちとの交流活動	61
子どもに礼儀やしつけを教える活動	49
文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす活動	47
子どもの学力を伸ばすための活動	16



3 今回の研修に参加して、『つながり』について関心をもつようになりましたか。

大変関心をもつようになった	79
どちらかといえば関心をもつようになった	11
関心をもつにはいたらなかった	0
アンケート回答者数(人)	90



4 次年度以降の研修で、取り上げてほしいテーマ

コメント(自由記述)

地域とのつながり作り、つながりの実践例などのご講話をいただきたいと思います。地域連携がスムーズに実現されている地域の成功例などの発表(都会派、農村部、アパートなどの多い地域)等(4人)

友達関係・仲間意識について(3人)

長谷川先生や廣瀬先生の講話は、原点回帰と更新のためにもぜひ継続をお願いします。(3人)

コロナが明けての地域の活動について

コロナが終息後、子供に対する親の対応。不登校の子供への声掛けなど

食育

子どもたちを取り巻く環境(SNSに対して)から守る大人の役割について

やはり「ふれあい」が大切だと思います。

保護者との良好な関係構築について

このような場に出ることが、本日のテーマつながりの始まりだと思う。テーマはお任せします。

実際に地域活動に参加している方との交流があれば嬉しいです。

地域におけるICTの活用。

公民館のあり方